



2012年3月期

通期 決算説明会

SMK株式会社

2012年4月27日



# SMK 出席者の紹介

代表取締役 会長      中村 哲也



# SMK新体制(抜粋): 4月1日 & 4月25日付

3/27

狙い: ①若返り ②グループ経営の活性化

	氏名	前	新
本日の出席者	中村 哲也	代表取締役 社長	代表取締役 会長
	池田 靖光	代表取締役 副社長 営業本部長	代表取締役 社長
	大垣 幸平	執行役員 経営企画・総務担当	常務執行役員 CFO、財務・経理担当
	池尾 政信	CS事業部 副事業部長	CS事業部長
	増淵 充行	FC事業部 副事業部長	FC事業部長
	柳 茂哉	執行役員 TP事業部長	同左
前回まで	山田 一	取締役常務執行役員 CFO、財務・経理担当	監査役(6月22日付予定)
	角 芳幸	常務執行役員 CS事業部長	取締役常務執行役員(6月22日付予定) CTO、技術本部長
	若林 幹雄	執行役員 FC事業部長	常務執行役員 営業本部長



# FY2011 通期決算の概況

常務執行役員

大垣 幸平



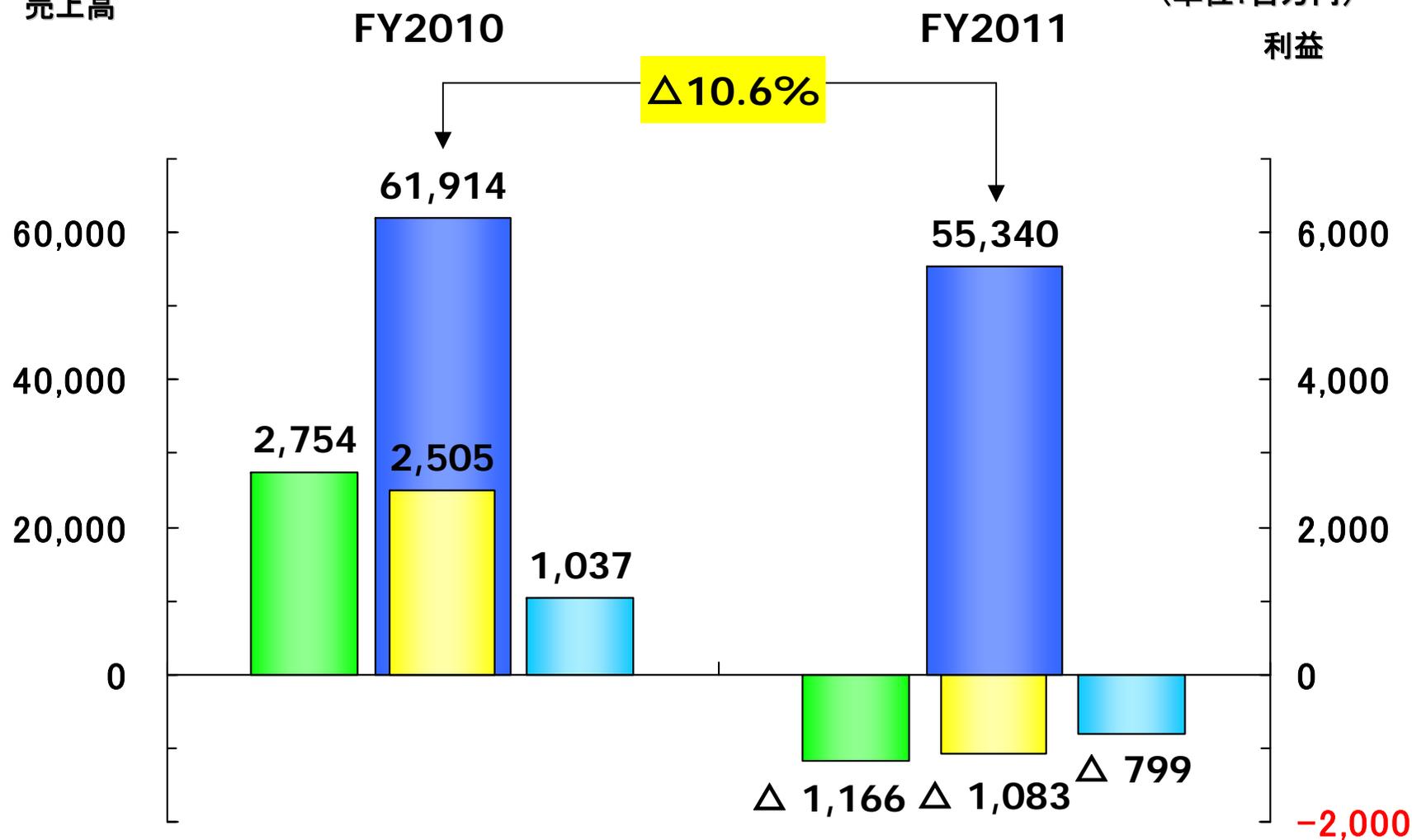
# <連結>通期業績

5/27

売上高

(単位:百万円)

利益



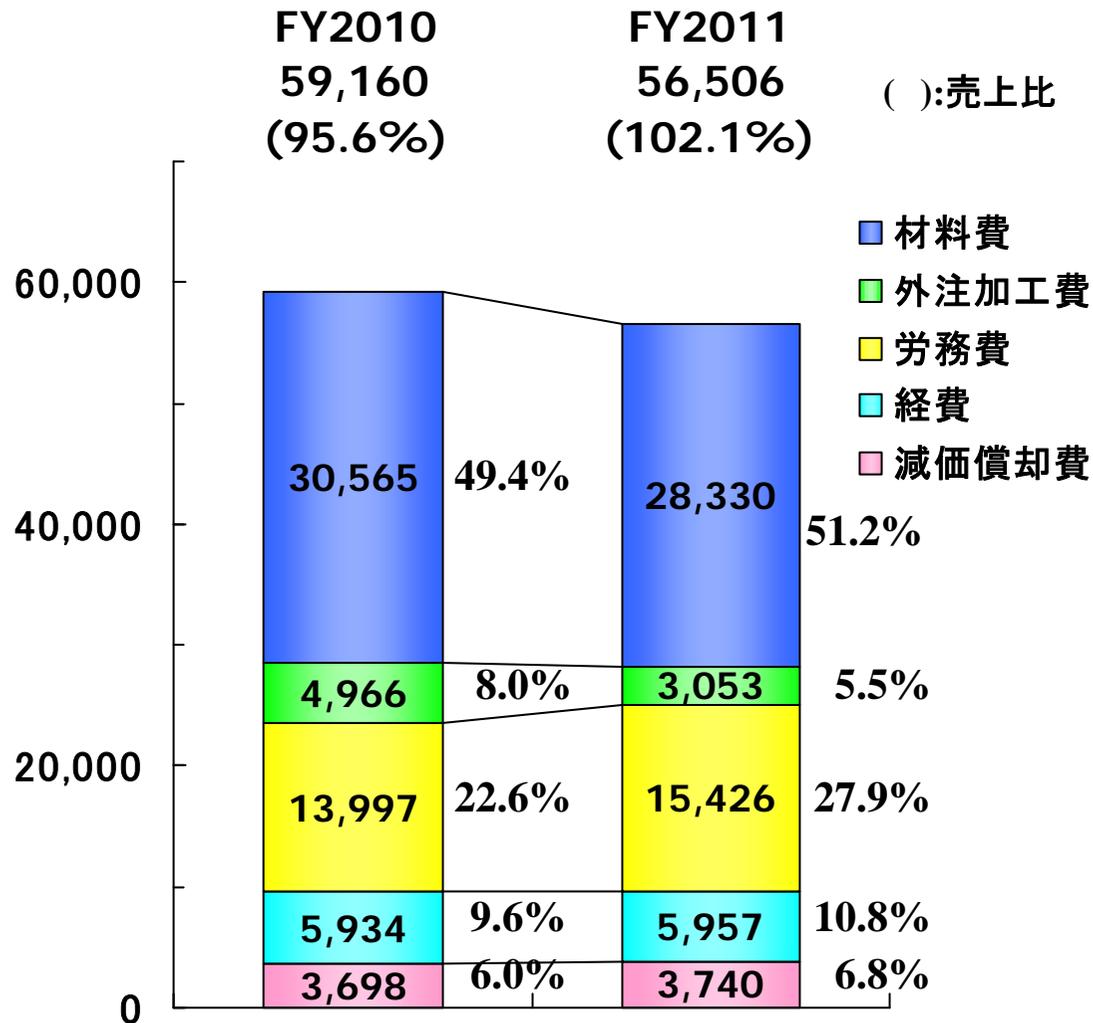
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



# <連結> 営業費用

6/27

(単位:百万円)



〔(材料費+外注加工費)0.7%改善〕  
 57.4→56.7% Δ374百万円

〔労務費 1,429百万円増加〕  
 中国子会社の影響  
 ・工場独資化:外注加工費からの振替  
 ・内作取込増加による人件費の増加

営業利益	2,754 (4.4%)	Δ1,166 (Δ2.1%)
------	-----------------	-------------------

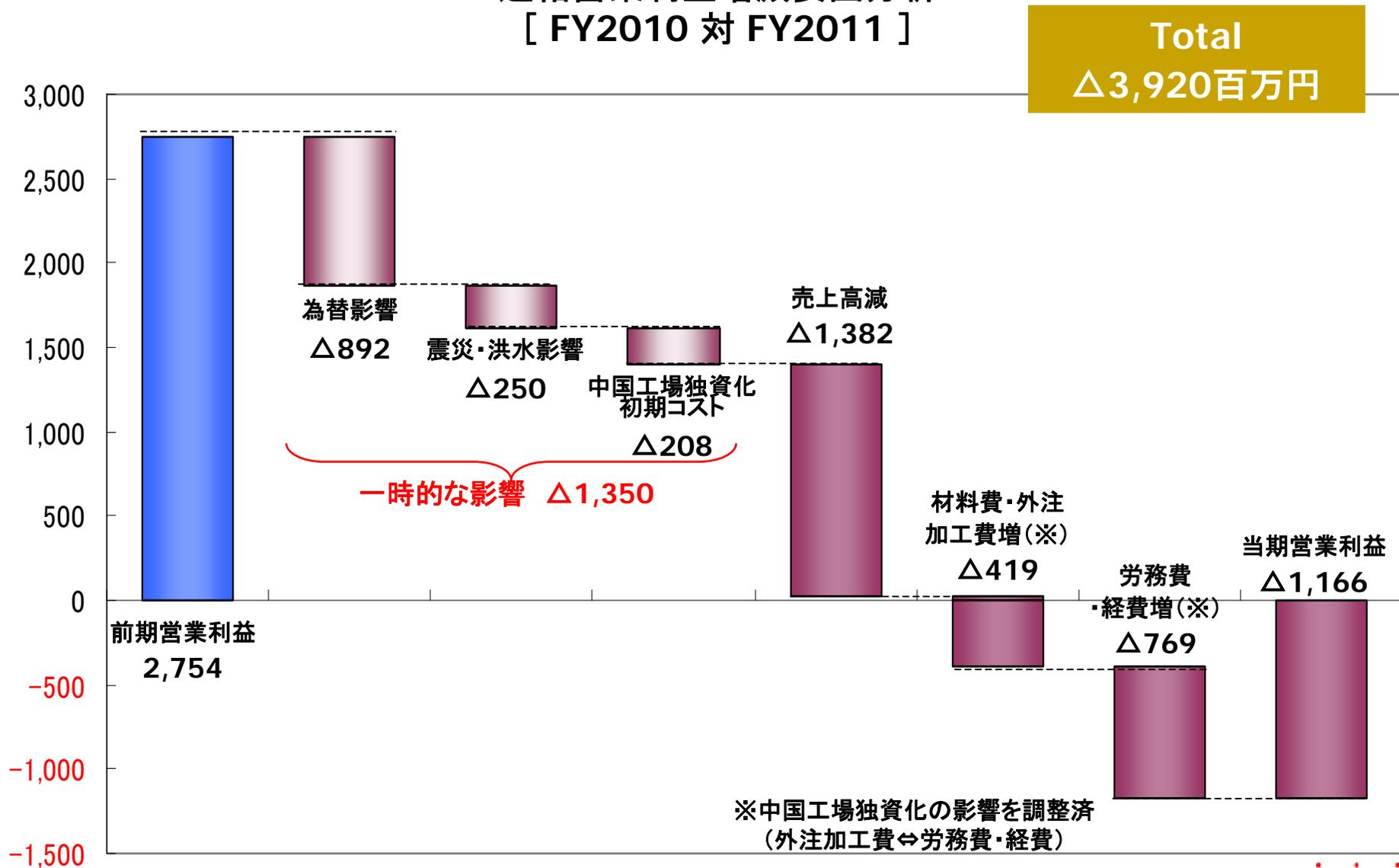


# <連結> 営業費用分析

7/27

## 連結営業利益増減要因分析 [ FY2010 対 FY2011 ]

(単位:百万円)





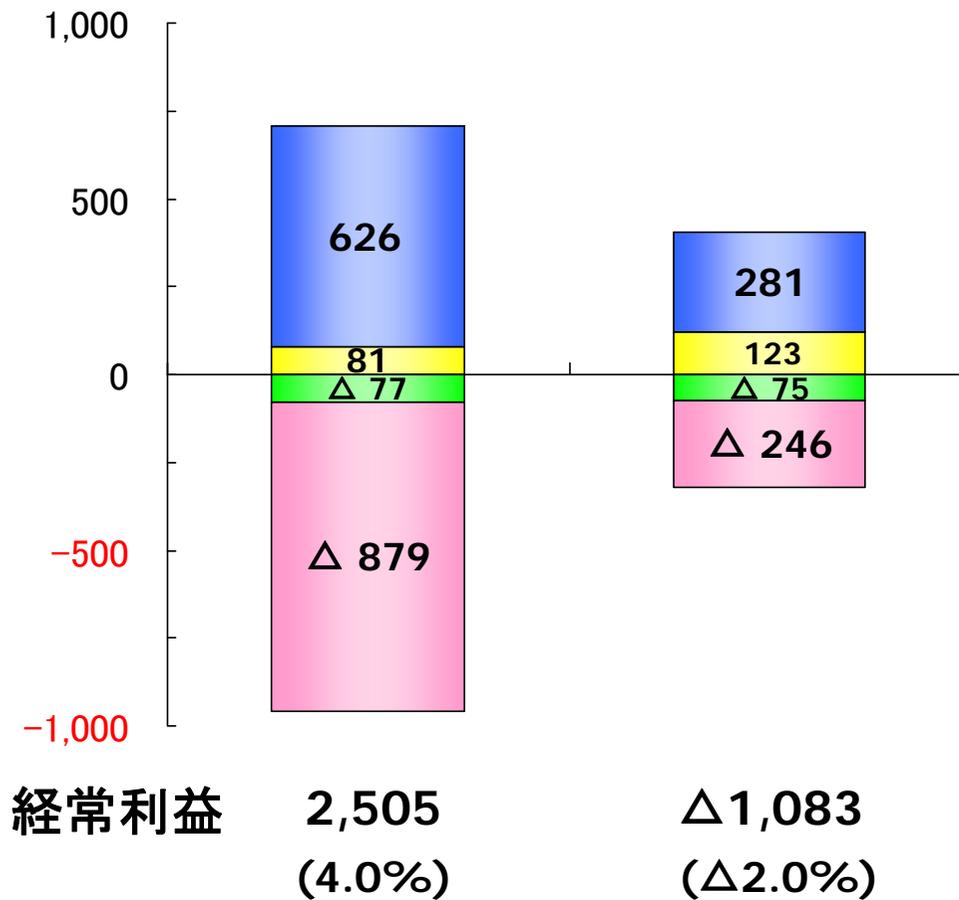
# <連結> 営業外損益

8/27

(単位:百万円)

FY2010	FY2011
△249	83
(△0.4%)	(0.1%)

( ):売上比



- 為替差損益
- 不動産収支
- 金融収支
- その他

[為替差損 633百万円減少]

1. FY2010  
2010/3 ¥ 93.04/\$  
2011/3 ¥ 83.15/\$ 9.89の円高
2. FY2011  
2011/3 ¥ 83.15/\$  
2012/3 ¥ 82.19/\$ 0.96の円高



# <連結>特別損益

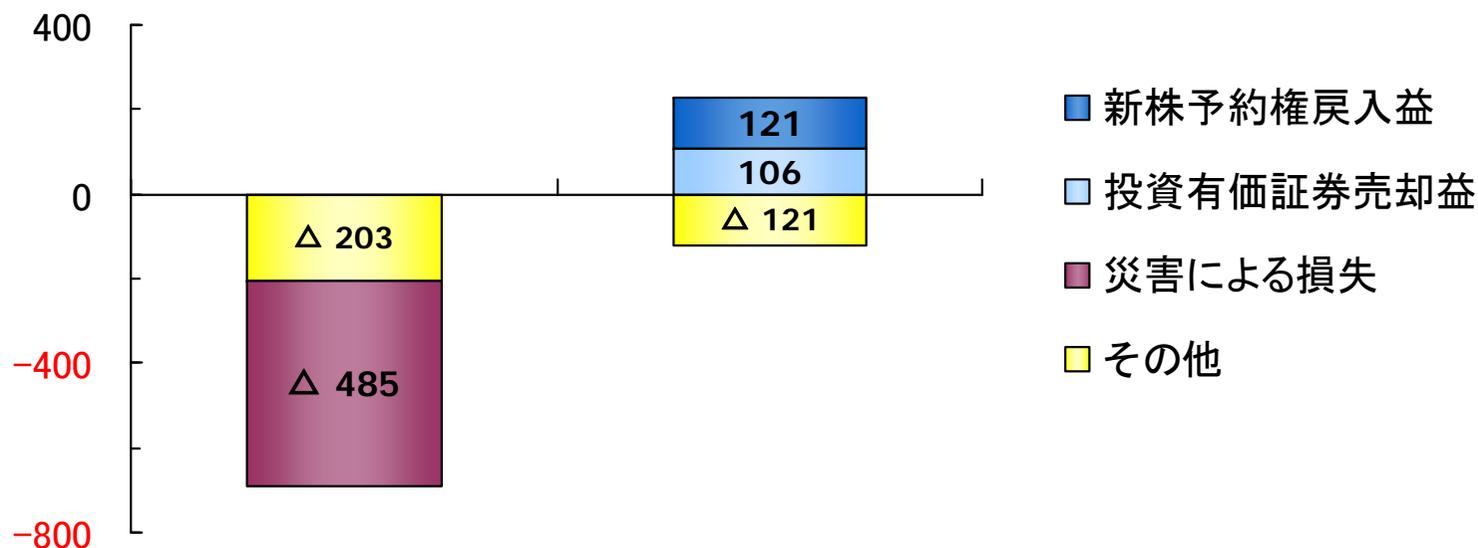
9/27

FY2010  
△688

FY2011  
106

(単位:百万円)

( ):売上比



税引前利益	1,817	△977
税金等(含税効果処理)	△780	178
<b>当期純利益</b>	<b>1,037</b>	<b>△799</b>
	(1.7%)	(△1.4%)



# <連結>業績推移(四半期別)

10/27

## 1. FY2011

(単位:百万円)

	上 期			下 期			通 期
	第1QTR (11/4~6)	第2QTR (11/7~9)	合 計 (11/4~9)	第3QTR (11/10~12)	第4QTR (12/1~3)	合 計 (11/10~12/3)	合 計 (11/4~12/3)
① 売上高	14,111	14,404	28,515	13,104	13,721	26,825	55,340
② 営業利益	47	△89	△42	△506	△618	△1,124	△1,166
③ 経常利益	△106	△434	△540	△317	△226	△543	△1,083
④ 当期純利益	△161	△429	△590	△244	35	△209	△799

## 2. FY2010

(単位:百万円)

	上 期			下 期			通 期
	第1QTR (10/4~6)	第2QTR (10/7~9)	合 計 (10/4~9)	第3QTR (10/10~12)	第4QTR (11/1~3)	合 計 (10/10~11/3)	合 計 (10/4~11/3)
① 売上高	16,056	16,946	33,002	14,732	14,180	28,912	61,914
② 営業利益	1,215	1,069	2,284	355	115	470	2,754
③ 経常利益	937	829	1,766	297	442	739	2,505
④ 当期純利益	628	531	1,159	51	△173	△122	1,037



# <連結>財政状態

11/27

(単位:百万円)

	2011/3 (A)	2012/3 (B)	増減 (B-A)
<b>資産</b>	<b>53,059</b>	<b>53,883</b>	<b>824</b>
現預金	7,442	8,472	1,030
受取手形及び売掛金	14,841	15,223	382
棚卸資産	5,672	5,472	△200
固定資産	21,205	20,397	△808
<b>負債</b>	<b>23,197</b>	<b>25,626</b>	<b>2,429</b>
買掛金及び未払金	10,981	10,800	△181
有利子負債	8,926	12,157	3,231
<b>純資産</b>	<b>29,862</b>	<b>28,257</b>	<b>△1,605</b>
資本金	7,996	7,996	—
<b>自己資本比率</b>	<b>56.0%</b>	<b>52.4%</b>	<b>△3.6%</b>



## <連結>キャッシュ・フローの状況

12/27

(単位:百万円)

	FY2010	FY2011
営業キャッシュフロー	6,230	2,001
運転資金	1,233	△430
税引前利益	1,817	△977
減価償却費	3,652	3,664
その他	△472	△256
投資キャッシュフロー	△4,001	△3,764
フリーキャッシュフロー	2,229	△1,763
財務キャッシュフロー	△3,347	2,686
有利子負債の増減額	△2,039	3,236
自己株式の増減額	△354	△259
配当金の支払金額	△954	△291
現金等期首残高	8,749	7,382
現金等期末残高	7,382	8,389



# <連結>セグメント情報

13/27

FY2011

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計 (連結損益計算 書計上額)
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	22,639	22,049	10,418	55,106	234	55,340
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益)	△312	△717	△154	△1,183	17	△1,166

FY2010

	報告セグメント				その他(注)	合計 (連結損益計算 書計上額)
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	23,242	30,080	8,350	61,672	242	61,914
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益)	565	2,223	△143	2,645	109	2,754

(注) その他部品、リース、不動産賃貸、ファクタリング事業



## <連結>業績予想／配当の状況

14/27

### ・ 連結業績予想

(%表示:対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
FY2012	60,000	8.4	1,000	—	1,300	—	750	—

### ・ 年間配当金

	第2四半期末	期 末	年 間
FY2012(予想)	0円00銭	6円00銭	6円00銭
FY2011	0円00銭	6円00銭	6円00銭



# FY2011通期実績とFY2012見通し

代表取締役 社長

池田 靖光

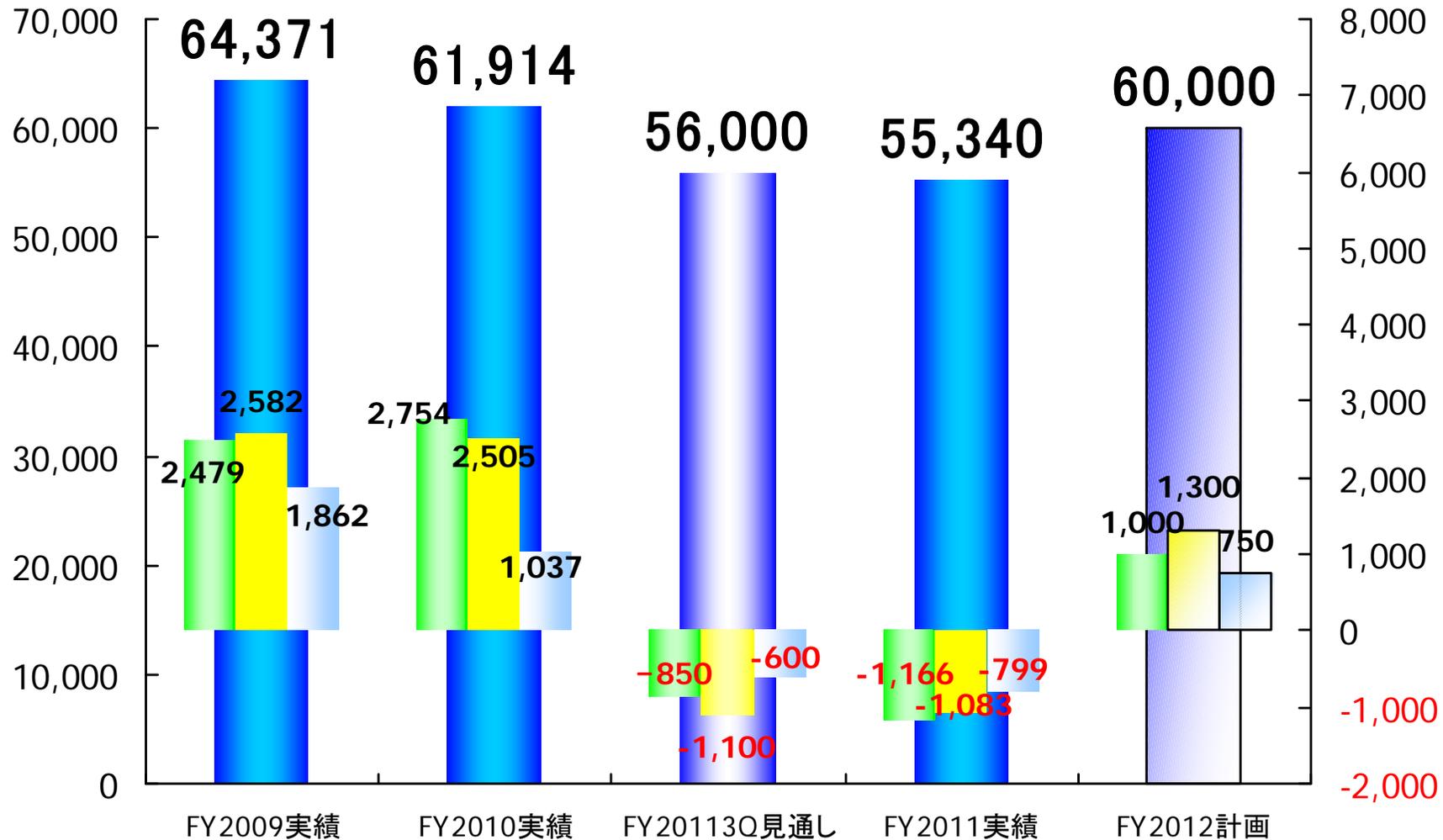


# 通期 売上高、利益推移(FY2009~FY2012)

16/27

売上高:百万円

利益:百万円



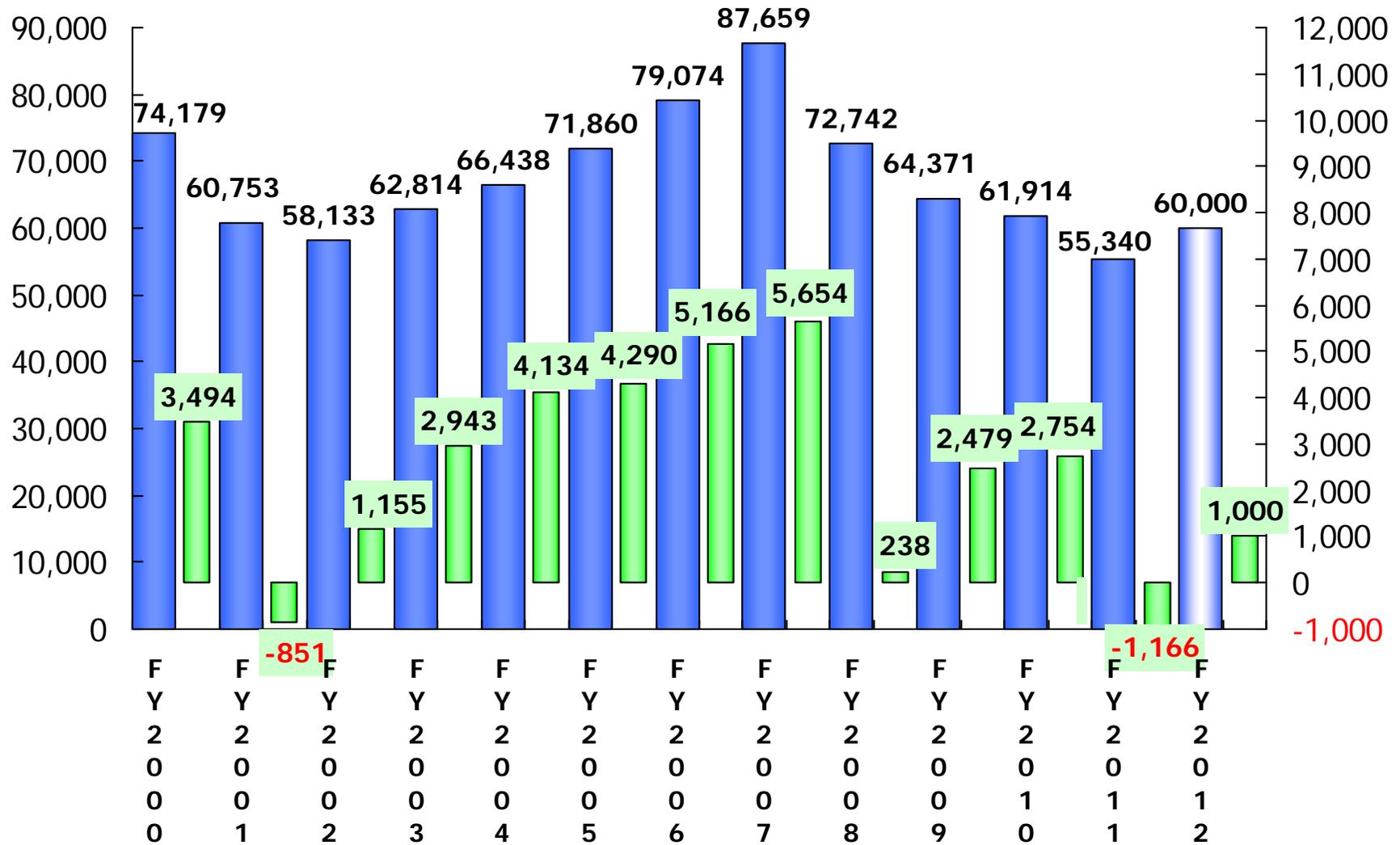
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



# 期別 売上高 & 営業利益推移 (FY2000~FY2012)

売上高:百万円

営業利益:百万円

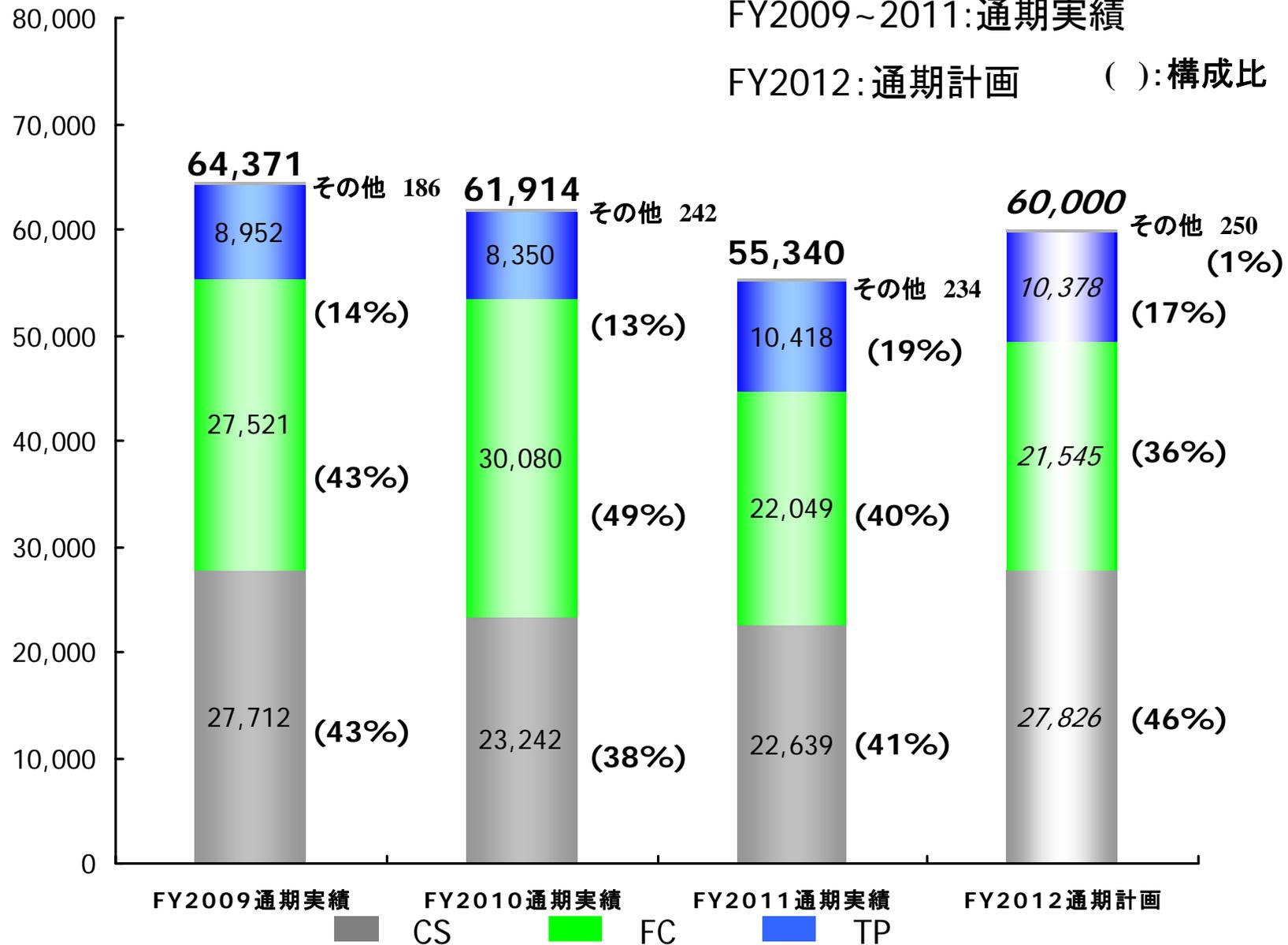


■ 売上高 ■ 営業利益



# 事業部別売上高(FY2009~FY2012)

売上高:百万円





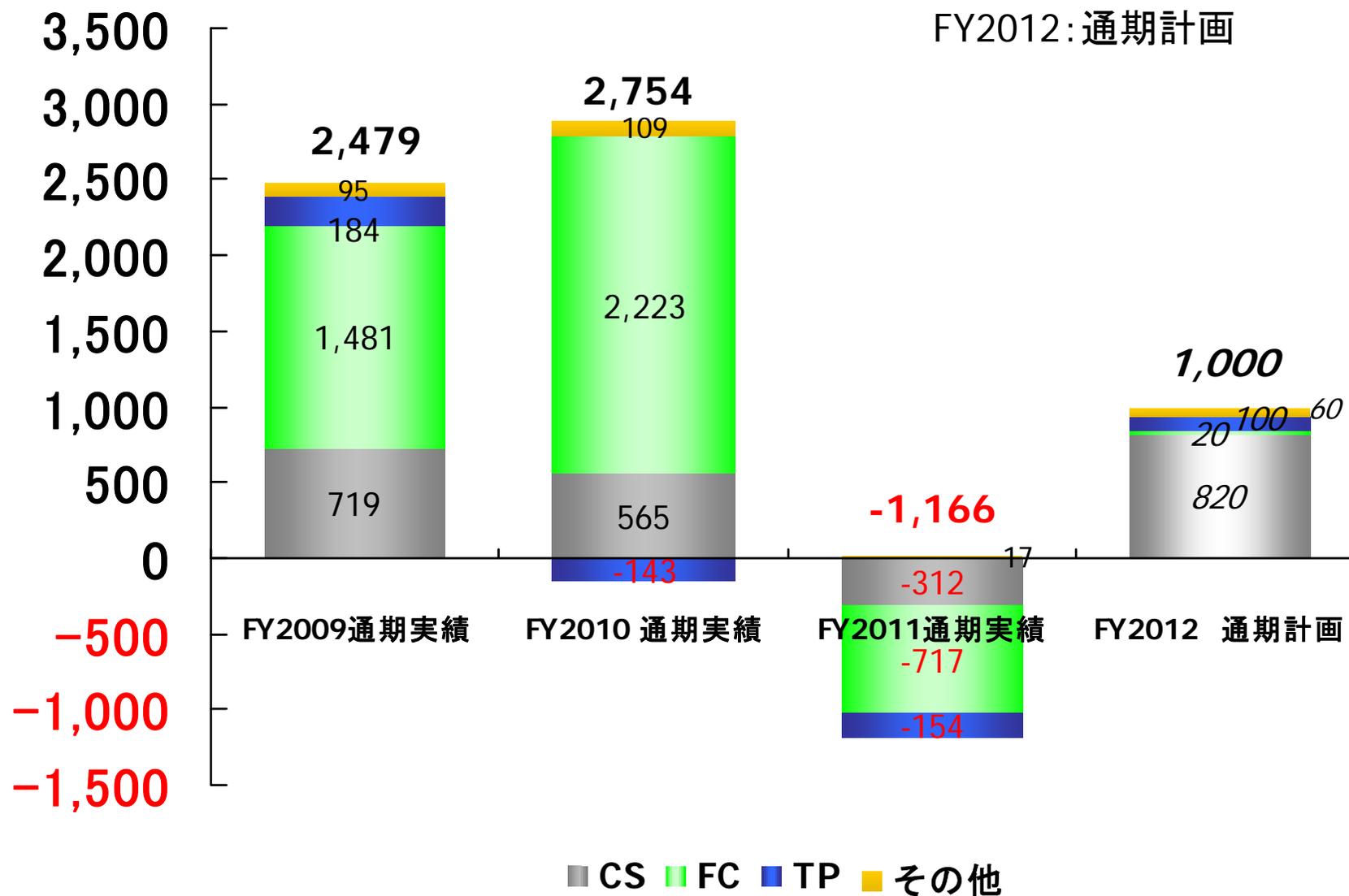
# 事業部別営業利益(FY2009~FY2012)

19/27

営業利益:百万円

FY2009~2011:通期実績

FY2012:通期計画

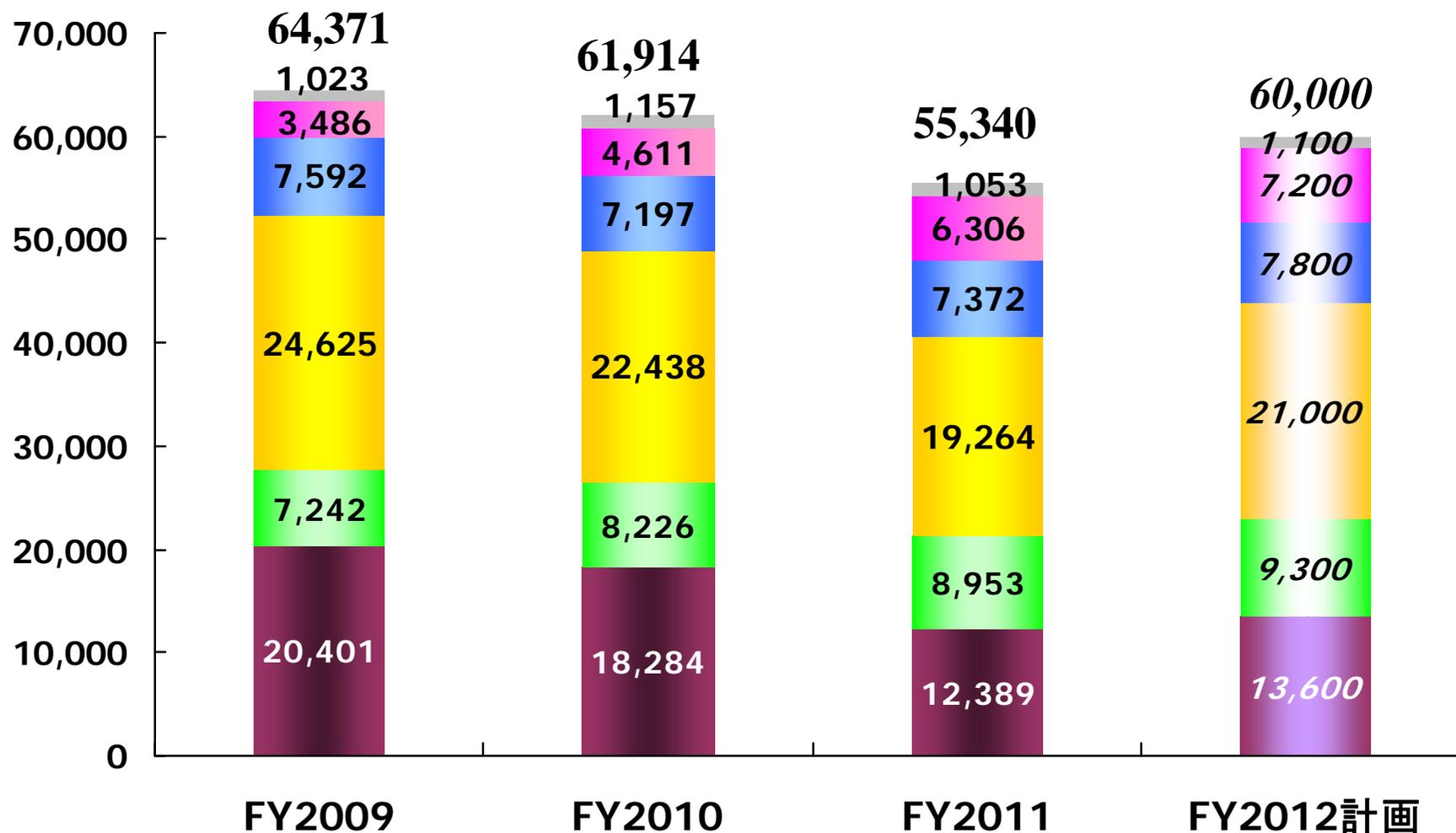




# 市場別売上高(FY2009 ~ FY2012)

20/27

売上高:百万円



■ 映像・音響部品

■ 電装部品

■ 通信部品

■ 情報事務機部品

■ 電子玩具・家電部品

■ その他部品





## 東日本大震災対応

✓復興対応

✓節電対応



ひたち事業所

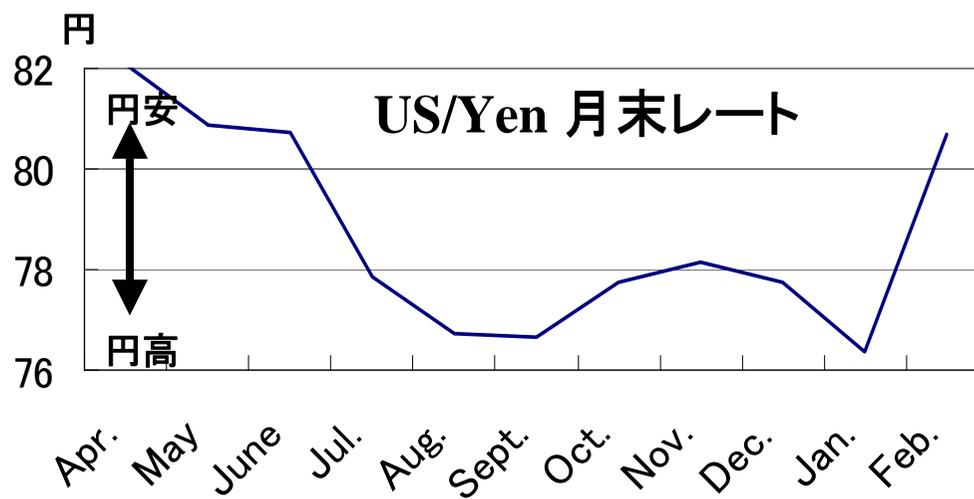
## 経営環境の悪化

✓超円高の進行

✓タイ洪水



✓日系AVエレクトロニクス業界の不振





# FY2011を振り返って -2

## 海外ネットワークの最適化

- ✓ 生産事業所の増強・清算
  - マレーシア第2工場開設
  - 英国事業所清算
  - 東莞独資化

マレーシア第2工場



- ✓ 販売拠点の拡充
  - 青島Office開設 (2012/3) ★
  - 西安Office開設 (2011/5) ★

中華圏販社ネットワーク





## ポジティブ面



- ✓ 超円高の修正？、東日本大震災からの復興需要
- ✓ 中国/新興国の需要拡大、US景気回復への期待
- ✓ 大型イベントの開催（ロンドンオリンピック、US大統領選 等）

## ネガティブ面



- ✓ 欧州金融不安の拡大
- ✓ 資源獲得競争の激化
- ✓ 各国で顕在化する政治リスク・社会リスク



- 事業体質強化による採算性の改善
- 競合との差異化を実現する現場力の向上
- 新しい収入源の開拓・創出





# 新しい市場別営業体制

25/27

FY2011

Digital Entertainment 市場部

Car Electronics 市場部

Information Technology 市場部

Industry 市場部

FY2012

Home Electronics 市場部

Car Electronics 市場部

Information Technology 市場部

Industry 市場部



## <再編のねらい>

- 1) 成長市場/未開拓市場に営業力の配置
- 2) 産機市場への拡販力強化



# TEXPO2012開催

26/27



## 開催日時

2012年6月6日(水)～8日(金) 10:00～18:00 3日間

## 場 所

SHINAGAWA GOOS ガーデンシティ品川  
(旧ホテルパシフィック東京)



## テーマコピー

“人、環境、未来へスマートナビゲート”

“*Navigating smartly for the people,  
the future, and the environment*”

“智能技术开创人类、环保及未来新天地”



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。